

町田市議会議員・ネット発信NO.1

吉田つとむ

ユーチューブ動画 860 万回再生を突破



吉田つとむ発見動画チャンネル



学校用タブレットとパソコンの購入契約

今期の議会で、82号議案「児童生徒用タブレット端末購入」と、83号議案「学校用ノート型パソコン購入」の契約案件の2議案を一括質疑しました。

購入先は「リコージャパン株式会社という企業であり、メーカーは特定されていない、クロームブックをこれまで使用しており、同じものになる」と言うものでした。文部省のギガスクール構想に基づく導入で、補助が3分の2に限定されており、上限も設定されているが、最低でも前回より上位の機種とすると言う回答の答弁が行われました。また、「購入する学校用ノート型パソコンは、82号議案のタブレットとは全く関連なく使用されるのか。」と尋ねました。全く別物で、パソコンは教室に置かず、教師専用とされ、クロームブックには収納しない、出勤表や児童・生徒の成績表などが入るとのことでした。

電子黒板やプロジェクターを動かすのに、町田市では教師用のクロームブックを使い対応するものですが、今回は電子黒板やプロジェクターの更新は予定されていないとのことでした。



議員個人の相互の交流について

相模原市の行政に関して、町田市と異なる業務に関して尋ねることにしました。その手配を好意的に進めてもらったのは、相模原市議会議員の阿部善博さんでした。ご本人も参考にとということで、同席していただきました。相模原市の場合、教育委員会の教職者の人事権も政令市である相模原市が行っています。また、町田市が自前で持っていない児童相談所も自前で持つことが前提になっています。



この日も、インターン生の学生を同行し挨拶

◎町田市議会は定数36名(1名が任期途中で退職し、現在は35名)。大多数はそれぞれの会派に所属します。吉田つとむは、「無所属」という3名の会派に所属しています。議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人単位で行います。

その「無所属」会派の3名は、採決において、自由に賛否を決める場合があります。

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員(4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘1-14-12
サンホワイトE103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



市の防災会議は現業排除のメンバー構成

町田市防災会議について質問しました。「町田市防災会議は、災害対策基本法に基づいて設置された機関で、町田市地域防災計画の作成や実施の推進、市長の諮問に応じて地域にかかる防災に関する重要事項の審議などを目的としています。」とされていますが、そのメンバーには、国や都、市の各種公的機関の他に、医師会、歯科医師会、また、薬剤師会と獣医師会までメンバーになっています。さらに、電気・ガスなどのインフラ企業、電車・バス・タクシーなどの交通企業、物流・物販企業など幅広い業界企業等などの多様な分野の代表者がメンバーに連なっています。

ところが、災害が起きた時にまず身近な道路の倒壊物を撤去する重機やトラックを有し、それらを動かすオペレーターを抱える、地元町田市の土木建設の現業団体の代表者がそのメンバーに加わっていません。彼らを入れるとどのような障害があるのかを明確にするため、議会の一般質問で尋ねたものです。行政の見解は土木建設業界と災害協定を結んでおり、日ごろから話し合っているとして、行政の配下に置けば済むと言う発想でした。私には町田市が現業企業に対する偏見を持って対応しているとしか思えませんでした。



◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう!

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

町田市職員の不手際と処分時期

この間、町田市職員の不手際が目立っており、町田市と市民に財政的な損害を負わせる事案も発生しています。あるいは、現在の第3定例会においても、提案された決算書が丸ごと間違っていたという【前代未聞】(ぜんだいまもん)の事態まで起きており、私などただただ驚いています。しかしながら。この事態を憂慮する市民も少なからずおられるでしょう。これには処分は課されないようでした。



それ以前に、交付金の請求がされずに税収に数千万円の損害を生じる事態が起きましたが、処分が明白でありませんでした。よって、議会で質問することにし、一方で、町田市の処分のルールと事例を先行して資料請求の手続きをしました。資料や海外開催の直前にその処分が発表されました。会議で公にしなかったら、そのままだったのではないかと勘繰りたくなりました。

行政では、大半が処分にならず、訓告と言う記録に残らない方法で、注意を受けるのが一般的であるようです。「厳重注意」というものがありますが、その実施に当たっては、記録に残らないし、どこまで厳重なのかは当事者にしかわからない内容になっていました。

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP
メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、第55期生を募集予定

インターン体験記③-2 佐々木 瑛

相模原市の教育委員会に出向き、教育委員会の組織構想と町田市との比較について事務の方とお話させて頂きました。今回は吉田つとむ議員の友人の相模原市議会議員 阿部善博様がお手配していただいたものです。

私は以前まで教育委員会とは学校とあまり関わりがなく、どちらかと言えば学校とは敵対しているイメージがありました。しかし今回、教育委員会のトップである教育長を始めとして、教育委員会の方の多くは元教師であることを知りました。私が思っていた以上に、教育委員会は学校教育に対して実践的な知識と経験を持ち、学校現場の現状を見てよりよい教育のための手助けをしてくれる機関なのだと分かりました。

また、相模原市には児童館がありました。これは町田にはない施設です。休みの日や放課後に子どもたちが自由に遊ぶことの出来る児童館は、乳幼児スペースやスタジオといった子どもセンターに特徴的な施設はありません。そのため親子で過ごしたり、高校生がバンドの演奏のために練習したりというよりも、子どもたち同士で好きに楽しむことのできる、比較的小中学生向けの施設であると感じました。



東京学芸大学2年 佐々木 瑛 53期

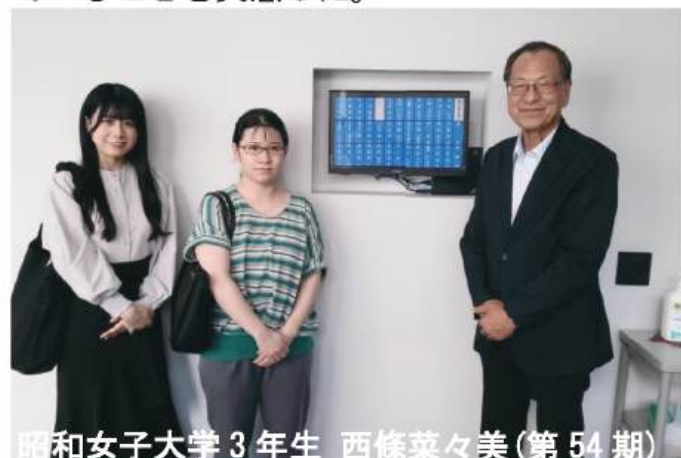
インターン体験記④西條 菜々美

この会のインターンシップでは、町田市市議会の一般質問を見学した。特に印象に残った質問は、学童保育クラブ事業の給食の提供についてと、ひとり親が利用できる「おうちごはん」についての質問だった。

町田市では学童保育は原則弁当持参だが、2025年度の夏期休暇に学童での給食の提供を実証実験をする予定であることが明らかになった。学童保育クラブ事業の給食の提供の早期実現が期待されている。

また、ひとり親が利用できる「おうちごはん」について、希望者が多くいる現状で希望する全ての人々がサービスを利用できるわけではないため、ひとり親を支援する地域イベントやこども食堂の充実化が求められている。

これらの質問を通じて、町田市が子育て支援に力を入れていることが伺えた。特に、学童保育クラブ事業の給食提供の実現や、ひとり親家庭への支援が今後さらに充実することが期待される。市議会の議論を通じて、地域の課題に対する具体的な取り組みが進められていることを実感した。



昭和女子大学3年生 西條菜々美(第54期)

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2024年8月末までに103名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎夏季のインターン生は54期生ですが、53期生も同時に参加しています。

インターンシップで若者育成の貢献
町田市議・完全無所属・良識ある保守

吉田つとむ



好評インターンシップは、欠かさずに続いている

インターン体験記②蛭田 咲菜

インターン二日目は、吉田議員の元インターン生である下津陽菜乃さんとお会いし、就職活動について、そして現在のお仕事についてのお話など、たくさんの貴重なお話を伺いました。下津さんは今年から社会人となり、現在は大手物流系の倉庫管理会社でお仕事をされているそうです。物流系というトラックなどの運送車両を用いた仕事を最初に想像してしまいましたが、下津さんの場合、管理システムを用いて倉庫を管理し、それぞれの顧客からのオーダーに対応するという業務を行っているそうです。



昭和女子大学3年生 蛭田 咲菜(第54期)

下津さんから伺ったお話の中で、私が最も印象に残っているのは、現在の業界を志望するようになったきっかけについてのお話です。下津さんは2011年に発生した東日本大震災の際に、物流があることの有難さを感じ、自らも物流に携わりたいと考えるようになったそうです。世の中には様々なお仕事がありますが、すべての業種が社会を築き、動かしていくうえでなくてはならないものです。表で目立つ職業ばかりではなく、1つの業界でも深堀していくと「こんな職業があったんだ!」という新しい発見があるように感じました。新しい社会に触れ、それをさらに探求することで、自分の未来の選択肢を広げることができるのではないかと考えました。

◎吉田つとむのインターンシップは、参加者との個別対応が特徴です。

◎吉田つとむのインターンシップは、社会人になった先輩インターン生との直線面談が大好評です。

◎吉田つとむの元インターン生は、一般企業就職が最大で、次いで公務員。弁護士が3人。

インターン体験記④蛭田 咲菜

今回は、朝から地域の自治会のお祭りの準備(一週間先のお祭りの準備です)のお手伝いをした後、地元の高校の文化祭を視察、そして神社の夏祭りの視察、と地域に密着した一日でした。

そんな一日の中で私が最も印象に残っていることは、議員が地域の人とすれ違うたびに「こんにちは。」と挨拶をしたり、積極的に声を掛け、にこやかに会話をしたりしていたことです。政治家が地域を回って多くの人と触れ合うことは、知名度や認知度を向上させることはもちろん、単純接触効果による好感度の向上に繋がるという効果もあると考えました。単純接触効果とは、ある人や物を繰り返し見たり、会ったり、接触したりする機会が増えるほど、それに対する警戒心が薄れ、親しみや親近感を感じるというものです。今回のように、お祭りなどの地域行事に積極的に参加することは、単純接触効果を有効に活用する手段の一つといえます。多くの地域住民が集まる場所に向くことで、より多くの人々の目に留まります。

また、ポスターや広告、SNSなどを利用することも単純接触効果による知名度アップに繋がると考えました。これらの行動は政治家にとってとても重要なものなのです。



昭和女子大学3年生 蛭田 咲菜(第54期)